



やってみたらできちゃった！ 楽しい田舎暮らし実践講座

●広川町のご紹介



広川まち子

人と笑顔とふれあいのまち広川町は福岡県南部にある人口約2万人の町。イチゴ・ぶどう・梨・桃などの果物、フルーツの町とも呼ばれています。その他、西日本1位の生産量を誇るガーベラ、八女茶の農業が盛んです。国の重要無形文化財に指定されている久留米餅の工房も多く福岡県知事指定特産工芸品でもある八女すだれの生産地でもあり古くからものづくりの技術が受け継がれてきた町なのです。また、町の木として制定されたイチョウは秋が深まると美しく色付きます。特に「太原のイチョウ」は美しく、その景色を一目見ようと沢山の方が訪れ近年では「映えスポット」として、SNSでも話題になっています。



「体力が落ちてもう耕さない畑があるけどやってみない？」というお誘いではじめて がばいいえん はじめてなかったら・・・今は耕作放棄地となっていた！？

※がばいいえんについては別紙資料(12)をご覧ください

VERY = とても(がば)

GOOD = 良い(いい)

FARM = 農園 (えん=ご縁)



ただ単に野菜を育てる作る場所では
ありません

↓
多世代が集まり繋がり
受け継ぎ、伝えていく場所

多世代交流農園



人と笑顔とふれあいのまち

広川町のホームページにもある
人と笑顔とふれあいのまちを更に目指していきたい！！



広川町で楽しい暮らしを！！と切磋琢磨している仲間達と
実行委員会を立ち上げました。

- ・西嶋寛美
- ・中村やよい (町定支援委員)
- ・塩澄文子 (主婦)
- ・本木裕子 (姫野病院地域事業)
- ・中村昌史 (株式会社鹿田産業ブランド推進室)
- ・恒松美里 (ひろかわまちじょ)
- ・氷室健太郎 (広川町役場 政策調整課)
- ・津山駿悟 (広川町役場 協働推進課)

日常生活の中で当たり前になっている事を見つめなおし、「男女共同参画」について考えました。
 がばいいん実行委員では、男女共同参画社会の実現において、家庭・職場・地域等、あらゆる日常においての一人ひとりの意識を変え行動していく事の積み重ねが重要だと考えました。
 そして、一人ひとりの日々の豊かな暮らしをテーマに、私らしく生きるきっかけとなって欲しいという想いで、地域の資源・暮らしの資源を活かす講座を組み立てました。
 いろんな人が繋がり、支え合って暮らす。そんな広川町を目指し、まずは自分から・
 そして周りに繋げていく人（活躍していく人）を増やすことを目標に掲げ、なかなか見なおすことがない、いつもの暮らしを身近なできることから始める、きっかけ講座を開催しました。

令和3年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

やってみたらできちゃった！
楽しい田舎暮らし実践講座（全5回）

ガバいいん
 プロジェクト

受講生募集中

がばいいん
 Instagram

Enjoy 広川町! 実践講座（全5回）
楽しい田舎暮らしスケジュール

第1回 8/22(日) 10:00-12:00(受付9:30-9:50)
 いつもの野菜やフルーツが大変身
 映える!!
フルーツカッティング
 講師: 貝田てるこさん

第2回 9/26(日) 10:00-12:00(受付9:30-9:50)
 生ゴミを捨てなくていいの!?
コンポストも知る+プランター栽培
 講師: 看護生活研究所
 JA農業指導員

第3回 10/24(日) 10:00-12:00(受付9:30-9:50)
 ベランダで育ててみよう!
コンポスト+プランター栽培
 講師: 看護生活研究所
 JA農業指導員

第4回 11/21(日) 10:00-12:00(受付9:30-9:50)
 廃材でこんなモノ作れちゃう!
 欲しい物を作ろう!DIY体験
 講師: 廣田建設 廣田大介さん

第5回 12/12(日) 10:00-12:00(受付9:30-9:50)
 地元のおぼちゃん産物!
美味しい漬物作り
 講師: 広川町在住 馬場キリエさん
 近藤由美子さん

※講座は2時間です。時間厳守をお願いします。

マスク着用等のコロナ感染対策実施中
 感染対策のご協力をお願い致します

参加者を募集するにあたり、チラシを1000枚配布しました。
 ターゲットとして下記のような方に参加してもらいたいと思い、配布場所も考えながら、実行委員で振り分け、協力し配布しました。

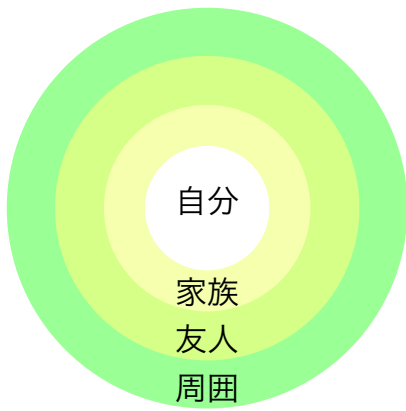
- 子育てで大変だけど何かしたい人
 - セカンドライフもっと活動的に過ごしたい人
 - 地域でいろんな方と交流したい人
 - 田舎で楽しく暮らしたい人
- 近隣の市町村の
- 子育て支援施設
 - ボランティア施設
 - 福祉施設
 - 保育園・幼稚園
 - 地域の施設
- & ● SNS

「来た球は打つ」「来なくても飛び込む」いつもチャレンジ精神!!前傾姿勢の👹なまはげ👹

株式会社MIKI・ファニット代表取締役 **太刀山美樹さん**が広川町に!!

「私らしく生きる」をテーマに講演会を実施

男女共同参画って、実は身近なコトだった!!
 特別な何かじゃなくても、自分が充実すると家が充実しさらには地域も元気になる!
 参加者に一歩踏み出す自信をもらい、実行委員はチーム力で解決できる事を学びました。



まず自分を満たし行動することで、
 自然と周りの人への貢献へとつながる!
 太刀山さんの講演を聴き、さっそく私達から行動へ



●7月31日（土）講演会開催に合わせて講座説明会を行いました。

● 第1回 LFCコンポスト講座（9月26日）

コロナ緊急事態宣言が発表されたので、急遽オンラインでの講座を開催しました。

オンラインでの参加が難しい方のために、会場も用意しハイブリット形式の講座にしました。

塾生の中にはオンラインの参加が初めての方も多く、事前に個人的に連絡を取り練習もしました。

実行委員会のメンバーも慣れない中ではありましたが、事前にあずばるさん主催のオンライン講座で学んだ事を活かしてトラブルもなく終了しました。

今回このオンライン講座を開催した事で、これからの活動でもオンラインを利用した事もできる！と自信がついた回になりました。

また、この講座を知った広川町議会議員の2名の方も見学させてほしい！と会場別室で見学し、自分達もこのコンポストを利用したいと声をいただきました。

この講座内では実践ではなかったので、一人では基材のセットに不安がある方もいると考え、講座後に実行委員と一緒に基材をセットをする時間を設けました。

家庭での実践をして塾生から

「今まで興味の無かった生ゴミ、コンポストを家庭で実践するようになってこんなに生ゴミ出たんだな」

「生ゴミをせっせと集める自分が面白くなりました」

「ゴミを出す回数が半分以上減ったよ」という嬉しい声も届きました。



● 第2回 コンポスト+プランター栽培（10月24日）

JAふくおか八女の園芸指導課の方にもこの講座の趣旨を説明させていただき、地域課題ともなっている耕作放棄地での活動と就農者の増加にもつながる活動になるかもしれないとご協力いただきました。

講座組み立て時、コロナ禍だった事もあり、おうち時間の充実した暮らしについても考えていました。

また、第1回コンポストの回で学んだ循環する暮らしを実感してもらいたいと今回の講座では、実行委員で事前に実践し、できたコンポスト堆肥を利用しました。

講座以外の時間も、塾生と繋がりながら活動したいと思っていたのでプランターだけでなく畑も利用しみんなで耕し、種をまきました。

講座後も塾生が親子で水やりに来てくれるようになり、講座以外の時間も一緒に活動できています。



第3回 DIY体験（11月21日）

DIY=Do It Yourself の略語で、「自分の手でやってみよう」という意味を持ちます。
壊れたら新しいものを購入する方が多い近年の暮らし・・・そんな生活を見直すきっかけになれば！！と
考えたこの講座は、がばいいん倉庫にある廃材を利用し、開催しました。
ここでは、塾生同士の仲が深まればいいなと考えていたので、3グループに分かれて行いました。
釘の打ち方、ドリルの使い方、ノコギリの使い方など、DIYの基礎を講師の方から指導を受け学びながら
箱・椅子・棚を製作し、価値のない廃材を価値あるモノに変身させました！！
この回で作ったモノを活用し、塾生と活動の幅を広げていきたいと考えています。
その他、事前に塾生には家庭でリメイクしたいと思うものがあれば持ってきてくださいと声をかけて
いましたので、講座終了後に講師から直接アドバイスをもらった塾生もいました。
家庭で実践してくれているといいなと思っています。



第4回 フルーツカッティング（11月28日）※コロナ拡大による影響で延期開催しました

フルーツのまち広川町は身近に果物があります。
そんな身近にある果物ですが、近年ではなかなか手にとりません。
手軽で安価なスナック菓子を食べる生活の中で、果物がある暮らしを・・・との想いで開催しました。
約1ヶ月後には、クリスマスを迎えるこの日、講師の先生はサンタクロースの衣装で登場！！
会場はスタートから笑顔で溢れました。一緒に参加してくれた塾生のお子さんも熱心にカッティング！！
ニコニコしながら親子で作業しているところを見ると、家庭での会話が楽しみになりました。
講座後には、持ち帰った作品を家族が喜んでくれたとの声も届きました。



第5回 漬物作り（12月12日）

講師は地元広川町のおばちゃん！！講師なんて無理ーとおっしゃっていましたが、このお二人は地域で子供食堂の活動で活躍しており、この講座の想いに共感し講師として参加してくれました。先代から受け継がれた、美味しい漬物の作り方を学び、私達が子供達（周り）に伝えたい！！地域で活躍している地域の方を講師に迎えたのもこの想いありきでした。性別・年齢に関係なく活躍していくことを目標に掲げた元気塾！！まさに見習いたいお二人です。漬物だけでなく、おからかりんとうも教えていただきました。

反省点として、事前に打ち合わせと講座の流れ（作る作業）を講師の方と行っていたのですが・・・別の場所で行った為、この会場の段取りに慌ててしまい、ガスがつかないというトラブルがありました。このことで段取りが遅れ、塾生を不安にさせてしまいました。



この講座での学びを日々の生活で実践し、豊かな暮らしを・・・
そして、次は私達が豊かな暮らしを伝えていく・・・
そんな循環社会を目指して！！



●実行委員会としての活動

連続5回講座を行うにあたり実行委員会ミーティングは2週間に1度のペースで実行しました。

塾生が満足できる講座にしたい！！そして塾生の意識の変化が見たい！！

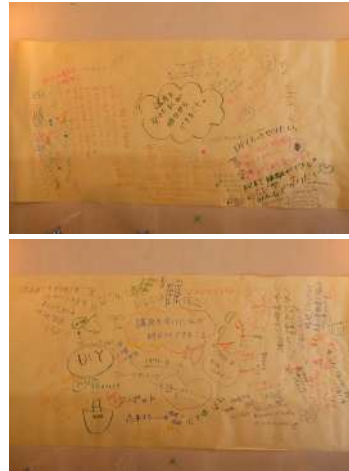
各回の元気塾講座でどのような想いを伝えたいかを意識して、実行委員として進行していく事を中心に回を重ねました。塾生は年齢が様々なので、実行委員会のメンバーも30～70代。年齢に合わせた意見が出てきたのは良かった。反省点として、太刀山さんから、スケジュールの共有をしっかりと！！とアドバイスをいただきスケジュール共有を心がけていましたが上手くできず。今後の課題となりました。



第5回講座の同日に修了式を開催しました。

あすばるセンター長さん、広川町協働推進課の課長さんにお越しいただきました。

● 「講座を受けた私が明日からできること」をテーマにディスカッション




4グループに分かれ自由に意見し、「明日からできること！」と「やりたいこと！」が見えてきました。ざっくばらんに話をすることで、修了式という少し張り詰めていた空気感が一気になくなり、皆さんの笑顔でいっぱいになり「時間が足りない!!」と、この時間の終わりを惜しみながら、皆さんから一言!!



がばいいん プロジェクト
2021.5.11-12.12

やってみたらできちゃった!
楽しい田舎暮らし実践講座



講座を受けた私が明日からできること

大それたことではなくても小さなことから
少しずつ・私らしい暮らしを・
これからも、小さな1歩を積み重ね
大きな未来を作っていきます!!

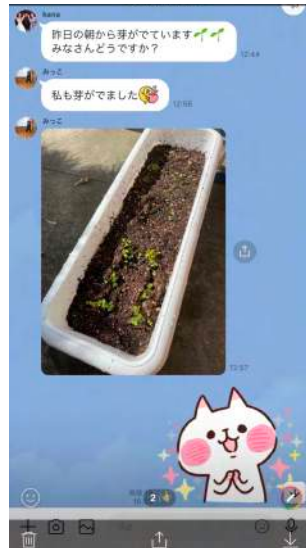
BY 実行委員



● 講座以外の様子

講座以外の塾生とのつながりを考え、LINEグループを作り情報交換の場として活用しました。

はじめは、次回講座等のご案内として実行委員が一方向的に発信していましたが、回を重ねると塾生からの発信してくれて、LINE内でも会話が広がりました。



5回連続講座の内容として、講座だけではなく暮らしの中での実践ができる内容でしたので、定期的に塾生からの声が上がるとなり、「私はこうなったよー」「収穫したよー」「分からないから教えて」と塾生どうしもつながり、講座以外でのリアルな塾生同士の交流も生まれていました。



第2回プランター講座で畑に種を撒いていたので、塾生が親子で水やりにきてくれるようになりました。ラディッシュ（20日大根）は成長も早く、収穫するよーと声をかけると、親子で収穫にきてくれて、いつものがばいいんの畑が賑やかになりました。



がばいいんでは、毎年恒例!! さつま芋掘り。

塾生にも声をかけると喜んで参加してくれて、収穫の喜びを共にし、講座後の家庭での実践の報告をしてくれました。

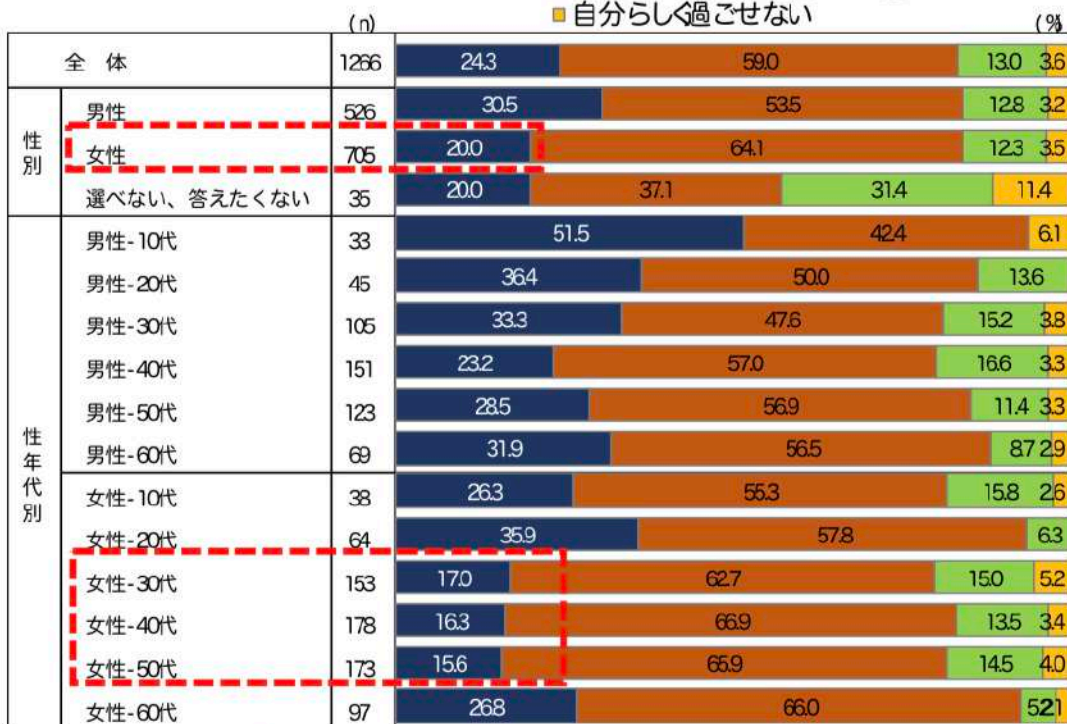
33.広川町は自分らしいライフスタイルで過ごせる町と思うか

【自分らしく過ごせる統合】

■全体

83.3%

- 自分らしく過ごせる
- どちらかといえば自分らしく過ごせる
- どちらかといえば自分らしく過ごせない
- 自分らしく過ごせない



30代から50代の女性が「自分らしい暮らし」を実現できていない

29.広川町が好きか

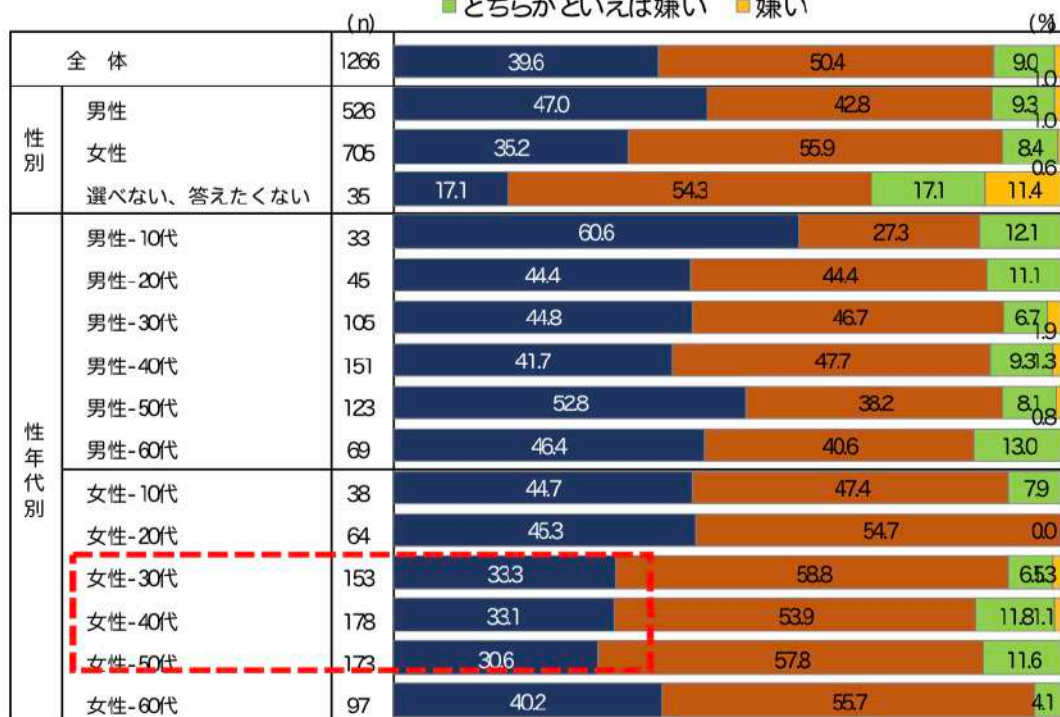
広川町新型コロナウイルス感染症に負けないまちづくりアンケート(2020)から

【好き統合】

■全体

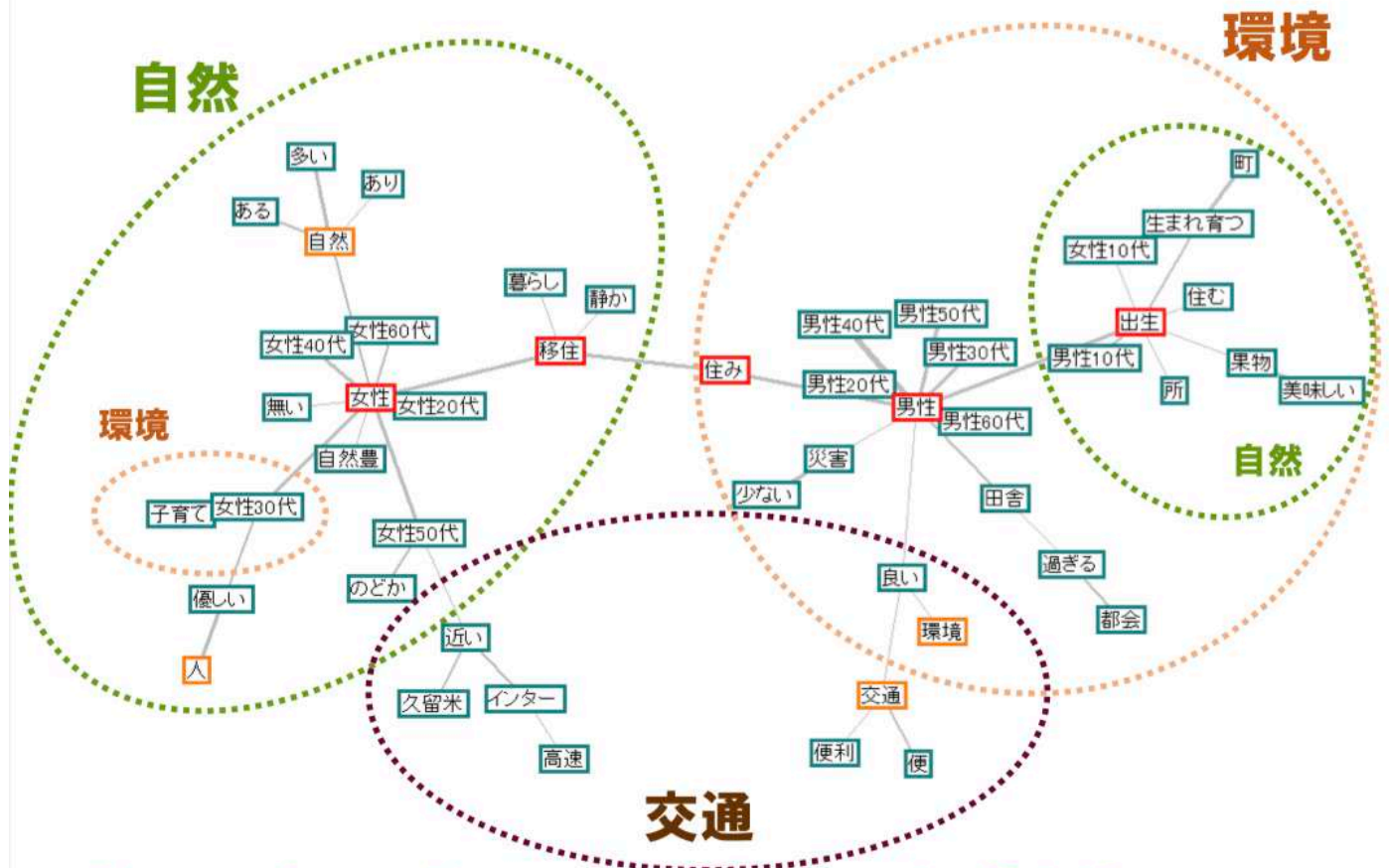
90.0%

- 好き
- どちらかといえば好き
- どちらかといえば嫌い
- 嫌い



30代から50代の女性では「広川町が好き」になれない人が多い

好きな理由：性年代・出生/移住 *テキストマイニング重要ワード



女性にアピールするためのキーワードは「自然」

【町のことが好き・暮らしやすい・自分らしく過ごせる・住み続けたいか】

		全体	町へ貢献意向				
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体		1265	17.4	47.9	10.5	8.2	16.0
町が好きか	好き	501	29.1	47.5	6.6	3.2	13.6
	どちらかといえば好き	637	10.7	53.7	11.3	7.2	17.1
	どちらかといえば嫌い	114	5.3	21.9	24.6	28.9	19.3
	嫌い	13	0.0	7.7	0.0	69.2	23.1
町は暮らしやすいか	暮らしやすい	420	25.0	49.8	7.9	4.3	13.1
	どちらかといえば暮らしやすい	647	15.3	50.4	10.0	7.3	17.0
	どちらかといえば暮らしにくい	159	8.8	39.6	18.9	15.7	17.0
	暮らしにくい	39	5.1	20.5	12.8	35.9	25.6
自分らしく過ごせるか	自分らしく過ごせる	308	33.1	43.5	7.1	3.9	12.3
	どちらかといえば自分らしく過ごせる	746	13.8	52.5	10.6	5.2	17.8
	どちらかといえば自分らしく過ごせない	165	7.3	42.4	16.4	19.4	14.5
	自分らしく過ごせない	46	6.5	21.7	10.9	45.7	15.2
住み続けたいか	住み続けたい	475	28.4	49.1	6.1	3.8	12.6
	どちらかといえば住み続けたい	400	12.5	56.3	10.0	4.8	16.5
	どちらともいえない	311	10.0	43.1	16.7	10.6	19.6
	どちらかといえば住みたくない	58	5.2	22.4	19.0	36.2	17.2
	住みたくない	21	4.8	4.8	4.8	61.9	23.8

広川町が好きで、
広川町で自分らしい暮らしが実現できると、
町の人のために役に立ちたい
と思う人が増える

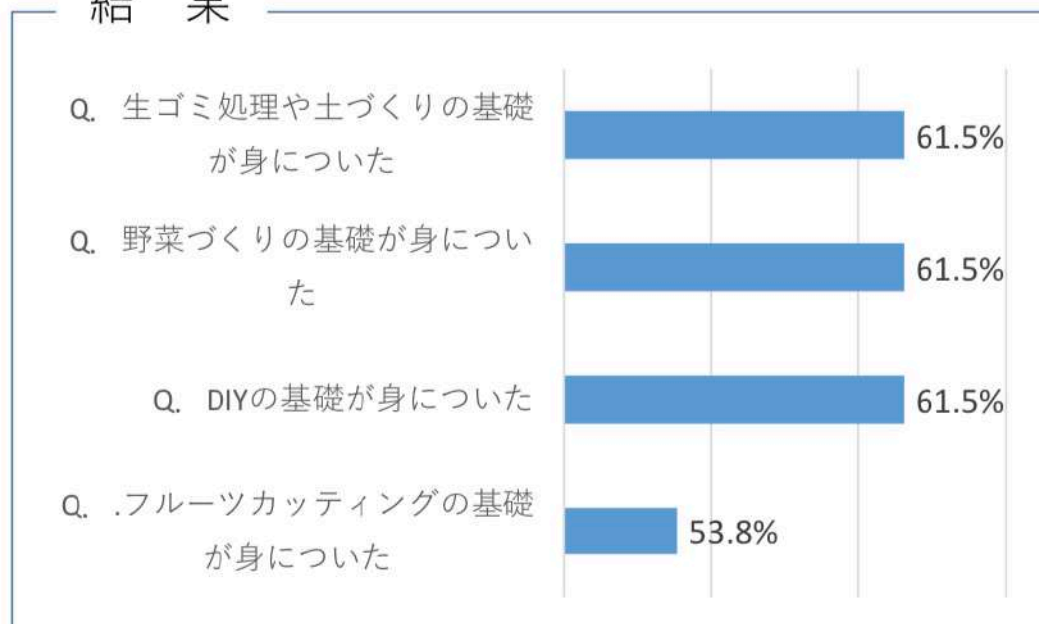
「がばいいえん」に期待！

計画での目標と成果

計画書で掲げた目標

田舎暮らしを充実させるために必要な、農業に関する基礎的な知識・技術、郷土料理や季節行事に関する基礎的な知識・技術、手工芸に関する基礎的な知識・技術が身についた、と感じる受講生の割合を**80%以上確保する**。

結果



目標には届かず。1回限りの講座では限界がある。

がばいいえんプロジェクトの概要

目的

世代を超えて受け継がれてきた知恵、技を伝えたいと考える高齢者世代と、それらを受け継ぎ、田舎が持つ可能性を引き出し、次の世代へと引き継ぎたいと考える若い世代とをつなぎ、自然との触れ合いや、季節の食べ物、ものづくりなど、「楽しく豊かな田舎暮らし」でいきいきしたライフスタイルの実現を促す。

ターゲット

田舎で暮らしながらも、転入してきたばかりで地元の人とのつながりも薄かったり、畑を持たなかったり、地域の恵みを楽しめないままに暮らしている人で、自分たちが知恵や技術を学ぶことで、次の世代にも引き継いでいきたいと考えている人たち。

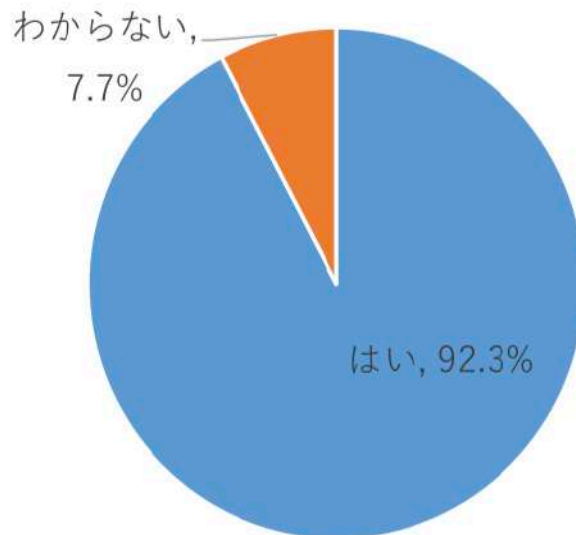
参加者の概要

年代	参加者数
30代	4
40代	5
50代	1
60代	1
70代	2
合計	13

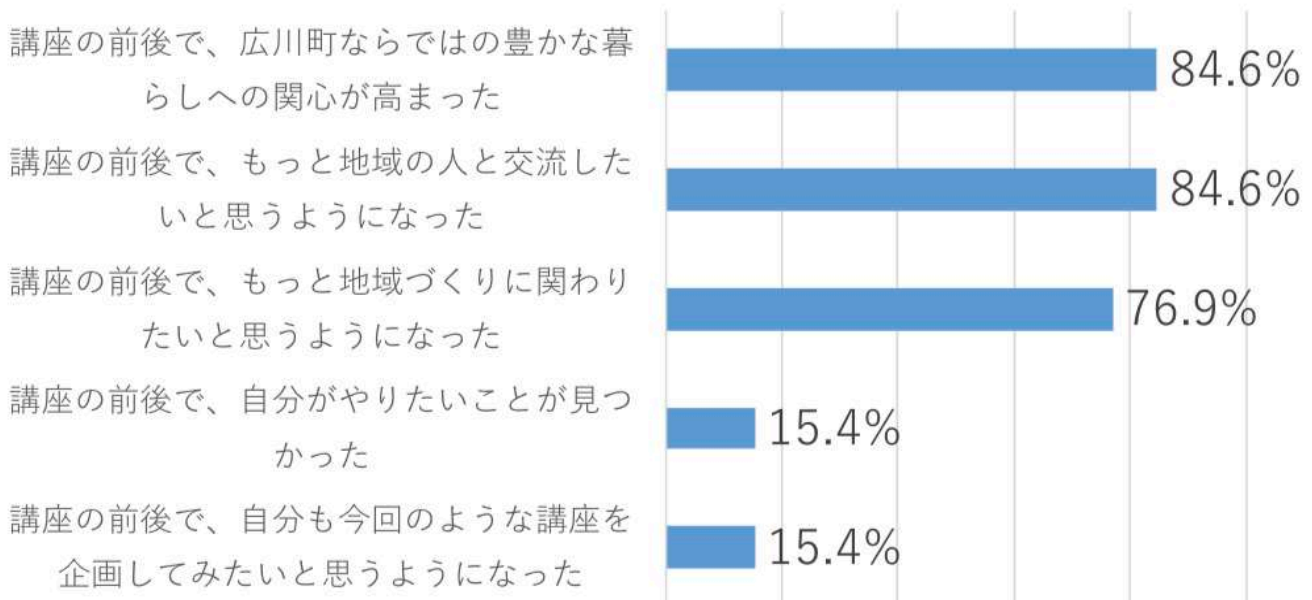
居住地	参加者数
広川町	9
久留米市	3
福岡市	1
合計	13

※全員女性

Q. 今回の講座で学んだことを、日々の暮らしの中で実践していけそうですか？



今回の講座の前後で、ご自身になにか変化
はありましたか？



がばいいえんプロジェクトは、**女性の活躍応援、住民協働のまちづくり**等への効果も確認できるプロジェクトであることが分かった。

「出逢い」と「体験」がある農園



場所：
 広川町ものづくり研究所Hodoku付近
 がばいいえん畑
 (福岡県八女郡広川町大字水原946-10)

がばいいえん VERY GOOD FRAM



世代や性別、全てを乗り越えて人と人が繋がる場所を作りたい。
 おばあちゃんが作ってくれる昔ながらの懐かしい味
 おじいちゃんが教えてくれる長年の技や文化を私たちはなくしたくない。
 そんな想いがきっかけで『がばいいえん』はスタートしました。

「出逢い」で育つ

がばいいえんは、2020年から福岡県の南部にある広川町でスタートしました。まだまだ始まったばかりです。

地域を元気にする活動する沢山の人と名人（地元の昔ながらのモノづくりを熟知したおじいちゃん、おばあちゃん）の協力で少しずつ前に進んでいます。

最初は何もなかったこの場所は、いろんな出逢いが重なり合いだんだん楽しいが溢れる、人の温かみを感じる場所へとなってきました。

人と人が出逢い繋がることでこの場所は育っています。



テレQ「雨ニモマケズ」でお馴染みのあの朝倉幸男さんもがばいいえんの応援に駆け付けてくれました！

「体験」から芽が出る

昔からずっと受け継がれてきたその土地の味や技、文化、そして想い……

そんな宝モノを大切に受け継いでいきたいと集まった仲間達と名人を囲んでお喋りしながら楽しく体験できる場所を私たちは作っています。



昔からあることだけ「やったことない！」がたくさんありますよ。

いつもの生活を抜け出して、どこか懐かしい非日常を体験してみませんか？ここには「やってみよう」の芽が溢れています。



Facebook



Instagram

自然豊かな小さな田舎まち遊びにこんねー！がばいいえんに興味がある方はこちらをご覧ください

